

目次 Contents

- 2 下野市指定避難所の開設方法について
- 4 Shimotsuke-CityTopics まちの話題
- 6 平成27年度下半期財政状況
- 8 参議院選の投票所について
- 9 新下野市風土記
- 10 敬老会・金婚夫婦祝福会のお知らせ
- 11 **環境トピックス**
- 14 保健だより  HealthInformation
- 19 地域包括支援センターだより
- 20 **生涯学習だより**
- 22 図書館 LibraryInformation
- 23 読書人
- 24 しもサタ通信
- 26 **Let'sSPORTS**
- 29 くらしの情報（イベントカレンダー）
- 48 国際交流員マシアスのコラム

今月の表紙



5月6日に開庁した下野市役所の新庁舎にて、300年ぶりといわれる「宍戸」が復活しました。これまで下野薬師寺に関する詞章が伝わっているのみで上演が途絶えておりました。
 当史跡と縁の深いこの演目を、こんばるりゅう金春流能楽師 山中一馬師のご尽力により、復曲能「宍戸」として上演しました。350名を超える方々が、静かで、荒々しい舞台を堪能しました。

今月の何の日 6月17日 おまわりさんの日

1874年6月17日に、巡査制度が定められ、お巡りさんが誕生したことに由来します。また、同じ年に交番制度も誕生しましたが、当時の交番には建物はなく、3人1組の当番員が特定の場所に出向き、100歩の範囲内で歩きながら立番を1時間ずつしていたことから、「交替で番をする所」という意味で「交番所」と呼ばれていました。1881年から交番の建物が建てられ、「派出所」と呼ばれましたが、1994年に正式に「交番」という名で統一されました。

交番などで勤務するおまわりさんの仕事は大きく分けて4つあり、一つ目は立番、見張、在所による警戒、二つ目は地域のパトロールと住民への巡回連絡、三つめは事件、事故などへの対応、四つ目は地域住民からの様々な相談の受理、迷子の保護など幅広い業務を行っています。

最近ではこのような交番制度が海外でも取り入れられ、「KOBANシステム」として周知されて治安の改善に役立っています。こうしたことから「KOBAN」が国際語として認知されるようになりました。
 いつの時代も子どもが将来になりたい職業で上位に入っておまわりさんですが、常に地域社会の平和のために活動してくれていることに感謝しましょう。

